

今年最高に観る人の心をゆさぶる 感動のトゥルー・ストーリー

ハリウッドで、今、もっともホットなカップルとして知られるアンジェリーナ・ジョリーとブラッド・ピット。そんなふたりが今年最高に観る人の心をゆさぶる感動のトゥルー・ストーリーを作り上げた。

はじめはピットと1冊の本との出会いだった。2002年にパキスタンで取材中にテロリストに誘拐されたウォール・ストリート・ジャーナル紙の記者、ダニエル・パールの真相を綴ったノンフィクション「マイティ・ハート 新聞記者ダニエル・パールの勇気ある生と死」(潮出版社刊)に彼は興味を持ち、自身の製作会社プランBエンタテインメントで映画化の権利を取得した。

筆者は実生活ではダニエルの妻マリアンヌ・パールで、フランスのジャーナリストだった彼女は、夫が遭遇した衝撃的な事件に関して、これまで明かされる事なかった真実をその本で世界中に語りかけた。そして、映画化では、ハリウッド最高の若手女優であり、ピットの私生活上のパートナーでもあるアンジェリーナ・ジョリーが、ヒロインのマリアンヌ役を演じることになり、ふたりの見事なコラボレーションが実現したのだ。

現代を代表するスーパー・カップルである彼らの創造的な情熱が、新たな感動を生むことになった!

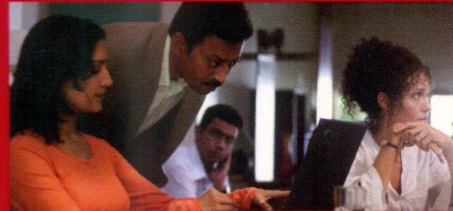
アンジェリーナ・ジョリー 主演 × ブラッド・ピット 製作

カンヌ映画祭やアメリカでは絶賛の嵐。

早くも、アカデミー賞の最有力候補作品と目される話題作の誕生!

完成した映画は今年のカンヌ映画祭で上映されて評判を呼び、全米公開時にも絶賛の嵐に包まれた。「まさに時代を象徴した作品」とくニューヨーク・タイムズも賛辞をおくり、早くも来年のアカデミー賞最有力候補作といわれる。夫ダニエルの誘拐事件が起きた時、妻マリアンヌは妊娠6か月。そのきびしい状況の中、新しい命の父親である夫の無事を信じ、強く、寛容な心<マイティ・ハート>で、人生最大の窮地を乗り越えようとする。

極限状態でも憎しみを超え、深い愛情と強固な決意を見せるようとするマリアンヌ。窮地に立った時、私たちは愛する人のために何ができるのだろう? 何を信じて、生きていくのだろう? そんな普遍的な問いかけを通じて、未来への新たな希望と勇気を感じさせる愛と感動のヒューマン・ドラマに仕上がった。



確かな演出と個性豊かなキャストが紡ぎ出す ジャーナリスト誘拐事件の真実の物語

その演出力の高さを絶賛されているのが、2006年のベルリン国際映画祭銀熊(監督)賞受賞の『グアタナモ、僕達が見た真実』や群像ドラマの傑作『ひかりのまち』で知られるマイケル・ウィンターボトム監督。社会派の問題作から文芸映画まで幅広い演出で実力を誇る彼が、今回、感動の実話をスケールの大きな社会派のエンタテインメントに作り上げた。

出演者はダニエル・パール役に『カポティ』でオスカーの脚色賞候補となったダン・ファターマン、他に『ベッカムに恋して』のアーチャー・バンジャビ、『サラーム・ボンベイ!』のイルファン・カーン、『21グラム』のデニス・オハラといった個性的なキャストが競演。

スタッフにはウィンターボトム作品の常連のスタッフが結集し、優れたチームワークでクオリティの高い感動作を完成させた。



アンジーの新しい挑戦

公私共に常に世界中から熱い視線を浴び続けるアンジー。スターの宿命を背負いながらも、毅然と輝きつけてきた。『マイティ・ハート/愛と絆』はそんな彼女の女優としての新たなステージの幕開けを飾る作品となった。自身も「妊婦である彼女がどうやってあの状況を切り抜けたのかと思うと、想像を絶するものがあるわ。でも、けっしてあきらめることも、自分の殻にこもることもなかった。彼女は本当に素晴らしい女性だと思う」と語り、マイケル・ウィンターボトム監督も、その演技を絶賛。「アンジーは女優として、また、一個人として可能な限り正確にマリアンヌという人物を再現しようと思っていたようだ。」登場人物と作品への深い敬意は、スクリーン上で強く美しいマリアンヌというキャラクターを産み出した。体当たりの熱演は、そのキャリアにおける最高の演技として高く評価されている。